

とよはし市電を愛する会

設立=平成2年(1990年)11月
会員=209名(2015年)

目的=路面電車を活かしたまちづくり

活動の3つの柱

- **見る市電** **まちの景観として** 車体カラーデザイン 写真 絵画など
- **乗る市電** **乗車促進運動** 市電の日 路電の日のイベント展開
- **考える市電** **活性化研究** 研究会の開催と参加 広報活動 他都市見学

■市電データ

(正式名称)

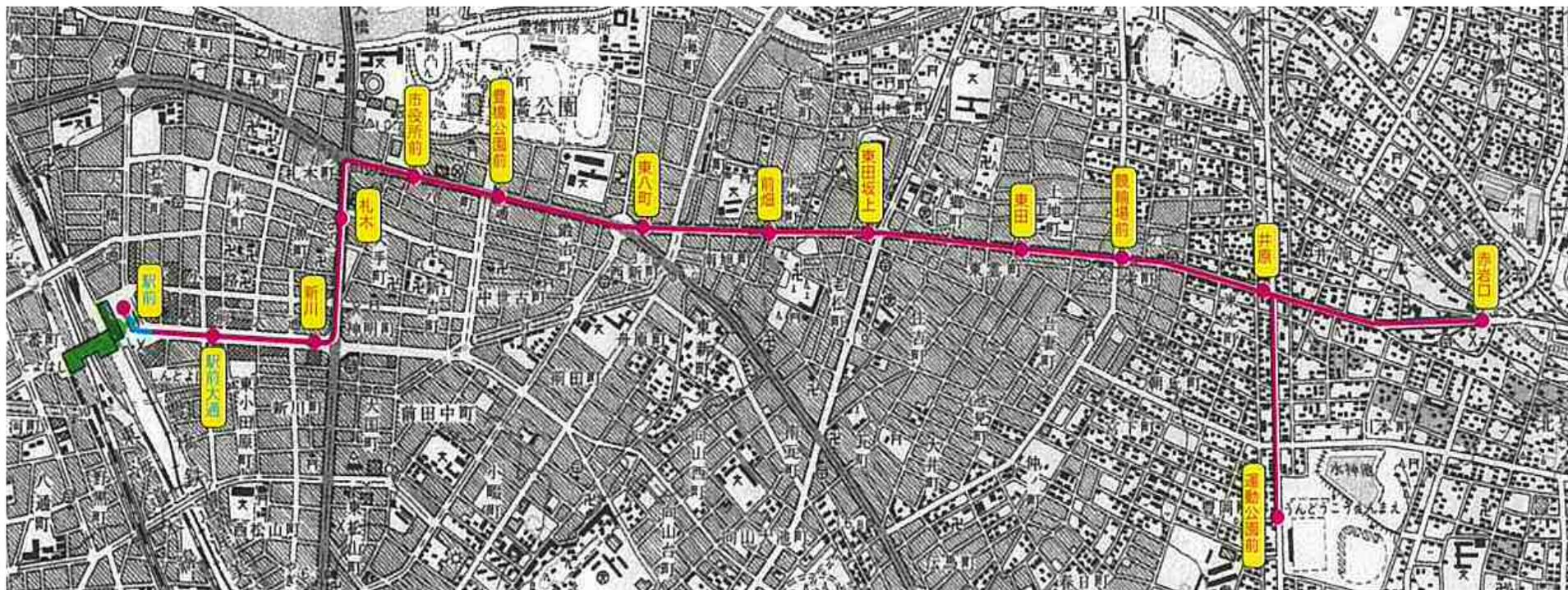
豊橋鉄道市内線東田本線

路線総延長/5.4^キ□(内、井原—運動公園前0.6^キ□)

(内、駅前乗り入れ150^米)

停留所数/14

運賃/全線均一大人150円(子供80円)、1DAYフリー切符/大人400円(子供200円)



■乗る市電

毎年4月10日を「市電の日」に制定し、イベント開催で乗車促進を図る。



1992 (H4) 年「コーラス電車」
当会理事・池田謙氏作詞「市電唱歌」のお披露目。豊橋少年少女合唱団。



1993 (H5) 年 国際交流電車「INTERNATIONAL FRIENDSHIP号」
市内在住の14カ国の外国人を招いて交流会を開催。



1996(H8)年 「市民仮装レトロ電車」

募金活動で復元させたS2年製車両の発車式。当時の仮装姿を募集し、記念走行。女学校、旧制高校生、兵士、ステッキ紳士、法被商人、芸者など。



2002(H14)年「孫ころ(真心)電車」

祖父母とお孫さんを募集・ご招待。赤岩口車庫で童謡の集い開催し笑顔の交流。



■最近の市電の日

平成23(2011)年より「ええじゃないか市電の日・ほの国ハイキング」

市電を愛する会・豊橋鉄道(株)・豊橋市役所が三位一体となって、市民とともに行う市電の日となります。



■見る市電

カレンダー「市電のある風景」伊奈彦定画



■見る市電 機関紙「市電文化」





1993年より絵はがきセット「市電のある風景」を発売。定価/¥500（6版目）

新駅「駅前大通」の開所式（2005.3）



■考えあう市電

平成10（1998）年6月10日（路電の日）

全国路電サミットin豊橋大会のプレイベント

「路面電車をめぐる世界の動き」講師：服部重敬氏



■ 考えあう市電

1999(H11)年第4回全国路面電車サミット99inとよはし

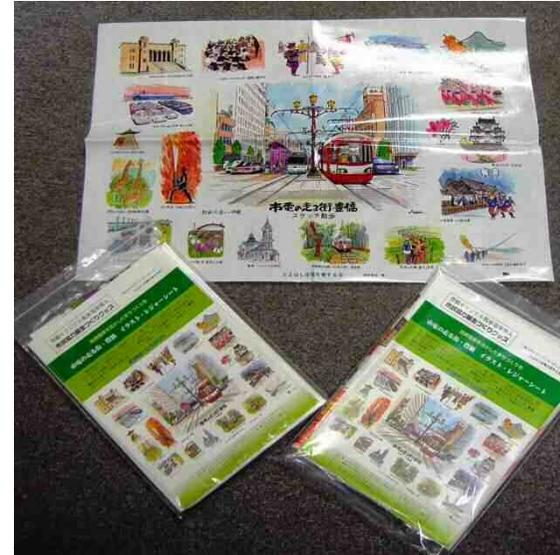
4日間約5,000人を集め、市電を活かした街づくりを議論。LRTの考えも披露された。



■募金活動

2006(H18)年LRV導入のためレジャーシート募金活動を開始。

袋詰め作業からイベントでのPR販売活動まで、会員のボランティアで行いました。(1セット¥2,000)



2007 (H19) 年11月 「LRV市民基金贈呈式」

レジャーシート募金やカレンダー販売などの資金15,410千円(1億5410万円)を市民基金に寄贈。
これがきっかけで、商工会議所、自治体、国の補助金が集まり、LRV導入が実現します。



2008年12月の営業運転に向け、赤岩口車庫内で整備中の真新しい「ほつらム」。
(2008年10月)



2008(H20)年12月 待望のLRV(ほつらム)導入実現
早速「ほつらム」を使ったイベントを開催。会員手づくりのミニほつらムも活躍。





ハーフマラソン応援号



他都市での全国大会にも参加し、意見交換を。



「LRT都市サミット豊橋2013」

2013年10月に予定していたサミットも台風の影響で2014年2月1日に延期されました



国土交通省主催「手づくり郷土賞」受賞





みんなの力で 実現させよう！ 豊橋LRT ゆめ路線を！

-  既設路線
-  第1次ゆめ路線
-  第2次ゆめ路線

未来の豊橋LRTゆめ路線図

